



但馬国府・国分寺館ニュース

2006.11 第6号

編集・発行

但馬国府・国分寺館
Museum of Tajima Kokufu and Kokubunji

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町神布 808
TEL 0796-42-6111 fax 0796-42-6112
http://www.city.foyocku.lg.jp/kokubunji/



密教法具 妙楽寺遺跡（豊岡市妙楽寺）出土

第8回企画展「とよおか歴史物語」を開催

豊岡市には、日本海や円山川、神鍋高原、コウノトリなど、多くの自然が残されています。そればかりか、兵庫県北部の中心都市として、今も発展を続けています。しかし、豊岡市の歴史と聞かれると首をかしげる方が多いのではないのでしょうか。

現在の豊岡があるのは、数多くの先人たちの苦勞や努力があったからです。それら先人の思いを感じ、豊岡の歴史を見つめ直す機会になればと、この展覧会を企画しました。展示品から、豊岡の悠久の歴史に思いを馳せていただければ幸いです。

■第8回企画展「とよおか歴史物語」
平成 18 年 9 月 28 日（木）～ 12 月 26 日（火）

Topics 豊岡ってどんなまち？

豊岡市は、面積約 700 平方キロ、人口約 9 万人の市です。面積は神戸市や淡路島よりも大きく兵庫県で最大を誇ります。

日本屈指の名湯・城崎温泉や但馬の小京都・出石、西日本有数の神鍋高原スキー場など、四季を通じて多くの観光スポットがあります。また、昨年 9 月にはコウノトリが自然放鳥され、大きな話題となりました。

豊岡の歴史をさかのぼる



- 2000年 平成 17(2005)年
新「豊岡市」誕生。
- 昭和 46(1971)年
野生コウノトリ絶滅。
- 1900 大正 14(1925)年
北但大震災
- 明治 4(1871)年
豊岡県誕生。
- 1800 享和 1(1801)年
出石焼の生産開始。
- 享保 6(1712)年
この年梅寿院が作った
押し花が残る。
- 1700 寛文 9(1669)年
大石内蔵助の妻、理玖
が生まれる。
- 1600 天正 8(1580)年
秀吉の第2次但馬討伐。
- 天正 5(1577)年
秀吉の第1次但馬討伐。
- 1500 応仁 1(1467)年
山名頼忠、垣屋宗忠を
九日市城(豊岡市九日市)
に攻める。
- 1400 正平 11(1356)年ほか
市内各地で南北朝の合
戦が起こる。
- 1300 延元 1(1336)年ほか
今川頼貞但馬を攻める。
- 弘安 8(1285)年
太田政頼、但馬国太田
文を注進する。
- 1200 文治 1(1185)年
屋島の戦いで進美寺(豊岡
市日高町)が観音経を転
読し源氏の勝利を祈る。
- 1100 長暦 2(1038)年
但馬国の百姓、都で国
司の苛政を訴える。
- 1000 天元 3(980)年
但馬国司の館に強盗が
押し入り財物を盗む。
- 900 延暦 23(804)年
但馬国府を気多郡高田
郷(豊岡市日高町)に遷す。
- 800 ・袴狭遺跡(豊岡市出石
町)、福成寺遺跡(豊岡
市福成寺)が営まれる。

コウノトリと豊岡市

昭和 46 年、日本国内の野生コウノトリが絶滅しました。最後まで生息していた地は、豊岡市。豊岡市ではコウノトリの保護に努めた結果、飼育数が増え、ついに平成 17 年 9 月、5 羽のコウノトリが自然放鳥されました。

高屋焼

高屋古窯(豊岡市高屋)は天保元(1830)年に生産をはじめた磁器の窯です。それまで磁器を独占的に生産していた有田(佐賀県)が大火で壊滅したため、生産が始まりました。しかし、飢饉や火災などで注文が減り、わずか 10~12 年後に廃されてしまいました。



高屋古窯の出土品

豊岡にもたくさんあった城

豊岡には城が 100 か所以上があることをご存じでしょうか。ただし、その大半は姫路城のような平地につくられた城ではなく、山の上につくられた城です。朝日城跡(豊岡市中郷)は円山川を見下ろす山上にある城で、曲輪とよぶ平坦な区画や堀を確認しています。土師器小皿は、約 90 枚が伏せて重ねた状態で見つかりました。



朝日城跡で見つかった土師器小皿



妙楽寺で見つかった密教法具(一部)

修行僧が使った道具

昭和 30 年、豊岡市妙楽寺で多数の密教法具が見つかりました。密教は仏教の中でも祈祷を重視した教えをもっていて、平安時代に空海や最澄によって伝えられました。密教法具とは、密教の祈祷の際に、心中の煩惱を打ち砕き清浄な心を得るために使われた道具のことです。

56 億年後に願いを託した人たち

平安時代後半の 11 世紀頃、仏の教えが減びるという末法思想が流行します。人々は弥勒菩薩が人間界に下り立つ、56 億 7 千万年後まで経典を残すため、塚に埋納するようになりました。これが経塚です。

香住門谷遺跡(豊岡市香住)からは、銅でできた経筒と経典の軸、刀子が見つかりました。経典そのものは腐っていて残っていませんでした。



香住門谷遺跡で見つかった経塚

800
700
600
500
400
300
200
100
0
紀元前
1000
紀元前
2000
紀元前
3000
紀元前
4000
紀元前
10000
紀元前
20000

天平13(741)年
但馬国分寺(豊岡市日高町)が造られ始める。

・三宅廃寺(豊岡市三宅)が造られる。

・赤坂古墳第1号墳(豊岡市但東町)が造られる。

・播縫古墳(豊岡市日高町)が造られる。

・二見谷古墳群(豊岡市城崎町)が造られる。

・茶白山古墳(豊岡市出石町)が造られる。

・ホーキ古墳(豊岡市納屋)が造られる。

・森尾古墳(豊岡市森尾)が造られる。

・妙楽寺墳墓群(豊岡市妙楽寺)が造られる。

・久田谷銅鐸(豊岡市日高町)が造られる。

・気比銅鐸(豊岡市気比)が造られる。

・中谷貝塚(豊岡市中谷)で貝塚が造られる。

・見蔵岡遺跡(豊岡市竹野町)で石棒が造られる。

・神鍋遺跡(豊岡市日高町)で集落が営まれる。

・豊岡で最古の石器が造られる(豊岡市森尾)。

・神鍋火山(豊岡市日高町)が噴火する。

・この頃から豊岡で人々が生活を始める。

寺の屋根を飾った蓮華文

屋根の軒先を飾る軒丸瓦には、模様が表現されています。その模様は仏教ではおなじみの蓮の花です。三宅廃寺(豊岡市三宅)から見つかった軒丸瓦は2種類。山背(京都府南部)や讃岐(香川県)の軒丸瓦と似た文様が使われていて注目されます。但馬の文化はいろいろな地域の影響を受けていたのです。



三宅廃寺の軒丸瓦

死者の枕

但馬の古墳の棺には、死者の枕が据え付けられていることが多くあります。枕といっても、単に土器を並べて置いたものから、石を丁寧に加工したものまでさまざま。棺に枕を入れることは、山陰地方独特の埋葬方法で、当時の中心地である近畿地方の文化とはまったく異なるものです。



中郷深谷2号墳(豊岡市中郷)の石枕

米づくりのはじまり

駄坂川原遺跡(豊岡市駄坂)には、弥生時代の貝塚がありました。貝塚からはシカやイノシシの骨もみついています。また、モミ痕がついた土器や、稲の穂を刈る石庖丁もみついていることから、米づくりもしていたことがわかりました。米づくりと狩りをしながらグルメな生活をしていた弥生人の姿が目に見えてきますね。



稲のモミ痕がついた弥生土器

豊岡にも貝塚があった

円山川とその入り江には、中谷貝塚(豊岡市中谷)や荒原貝塚(豊岡市香住)など多くの貝塚が残されています。貝塚とは、縄文人が捨てた貝が溜まった場所。ただし、荒原貝塚からは、自然死した貝も多くみついています。捨てられた貝はカキが圧倒的に多く、この場所が縄文時代のカキのむき身工場だったと考えられています。



荒原貝塚の貝層(一部)

豊岡最古の道具

ナイフ形石器という石器で、今から2万年以上前に作られたものです。用途はナイフと思われがちですが、実際は槍の先につけて獲物を捕るためのもの。石材は奈良と大阪の境にある、二上山で採れるサヌカイトという石が使われています。この石器が見つかった場所は、大内谷遺跡(豊岡市森尾)という、今から約1500年前の古墳の中。古墳と石器の時期は大きく異なります。古墳を造る際に、近くにあった石器がまぎれ込んでしまったのでしょうか。



ナイフ形石器

但馬国府・国分寺館 名品ギャラリー

⑤ 銀象嵌刀装具

ぎんぞうがんとうそうぐ

橋縫古墳（豊岡市日高町鶴岡）出土／鉄製、銀象嵌
7世紀／鞘尻：長さ3.7cm
豊岡市教育委員会 蔵



橋縫古墳は横穴式石室をもつ直径約30mの円墳で、石室は但馬でも最大級の大きさを誇っています。刀装具とは刀に装着する金具のこと。そして、銀象嵌とは表面に模様を彫り、そこに銀をはめ込んで模様を表現する技法のことです。写真左は鞘尻という、刀を納める鞘につけられた飾り。写真右は鐙を固定する金具と考えられます。いずれにも「U」字形に銀をはめ込んでいます。

象嵌は非常に高度な技法で、石室の大きさと合わせ、この地に大きな権力を持った人がいたことを裏付ける貴重な資料です。

豊岡の過去、そして未来

今の豊岡が発展を続けているのは、数多くの先人たちの苦勞や努力があったから。地中に埋まった土器や石器は何も語りませんが、常にそれら先人の思いを感じとる必要があります。過ぎ去った時代を見つめることは、私たちの正しい未来を映すことでもあります。激動の時代といわれる今こそ、じっくりと歴史を顧みることが大切なのではないでしょうか。



豊岡の歴史を眺めてきた円山川

お知らせ

■ 第9回企画展「海に生きる」を開催します。

日本海に面する豊岡市津居山。今回の企画展では、津居山を中心とした地域の漁具や、遺跡から見つかった古代の漁具などを展示し、海とともに生きてきた人々の暮らしを探ります。

- ・会期 平成19年1月11日(木)～4月3日(火)
- 会場 但馬国府・国分寺館 企画展示室
- *休館日、入館料は下記の「ご利用案内」の通りです。

■ 古代衣装試着体験、好評です！

奈良時代の衣装を試着できるコーナーを設けています。大人用と子供用を男女各種取り揃えています。ご希望の方には写真撮影もいたします（無料）。古代衣装に身を包み、万葉人の気分を味わってみませんか。



但馬国府・国分寺館 ご利用案内



但馬国府国分寺館
Museum of Yamato Kokufu and Kokufunji

- 開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日：毎週水曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）
年末年始（12月28日～翌年1月4日）
- 入館料：大人500(400)円、高校生200(150)円、
小中学生150(100)円 / ()は20名以上
* 県内の小中学生は無料 * 65歳以上の方は半額
- 最新のイベント情報など、詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>